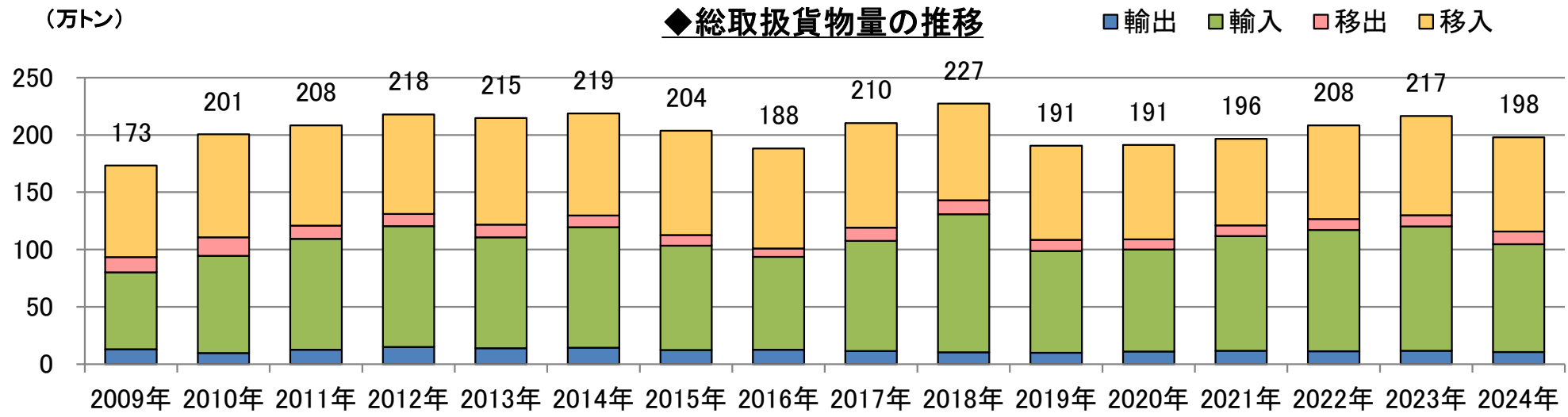
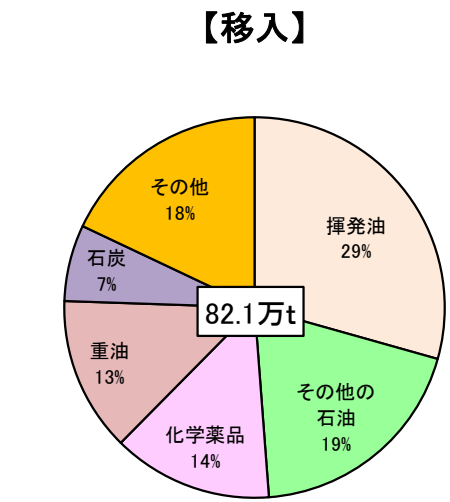
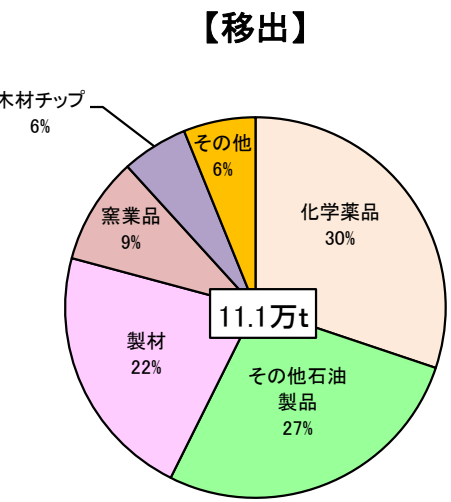
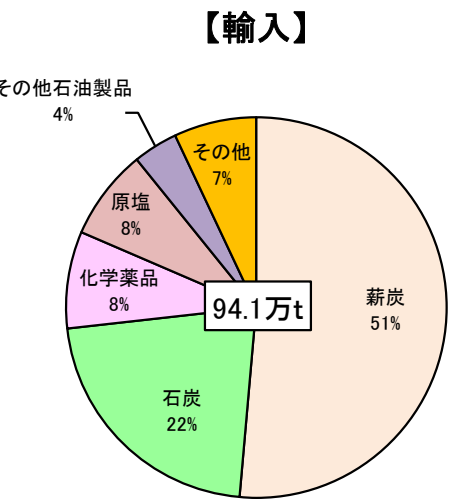
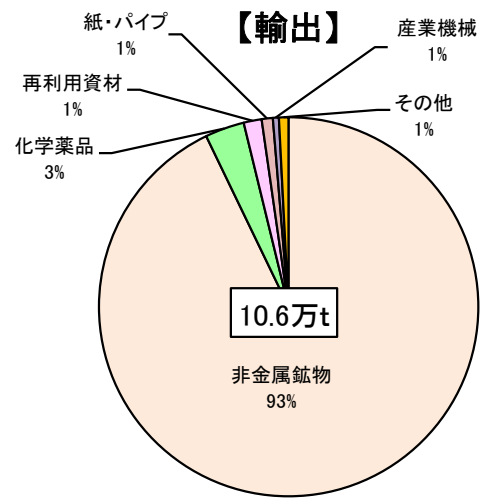


- 輸入の約22%占める石炭は、火力発電所である(株)三池火力発電所※及び自家発電燃料として利用する三井化学(株)等への供給が主である。
- (株)シグマパワー有明三川発電所では、2017年3月以降は「石炭発電」から「バイオマス発電」へと移行。2021年度からは新たに2基のバイオマス発電所が稼働しており、現在は輸入の約51%を薪炭が占めている。
- 背後の大牟田市には、三井化学(株)をはじめとする工場が立地しており、製造された化学薬品(自動車のシートクッション、リチウムイオン電池の材料など)や、その他石油製品(電極材料など)、窯業品(ファインセラミックスや電子材料など)が三池港を利用して輸送されている。

【※ (株)三池火力発電所は、(株)シグマパワー有明から売却され設立した会社(平成29年3月より)】

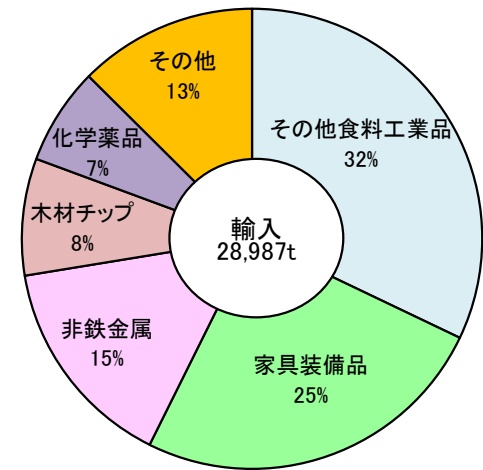
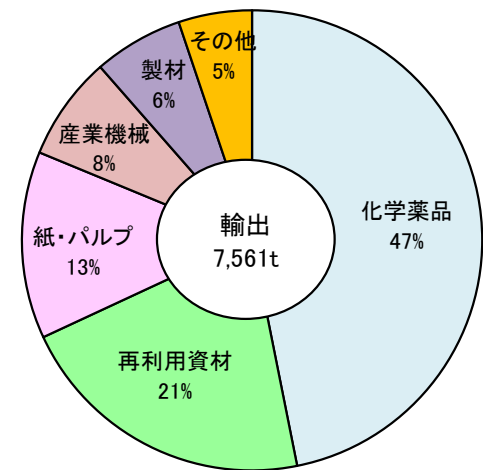
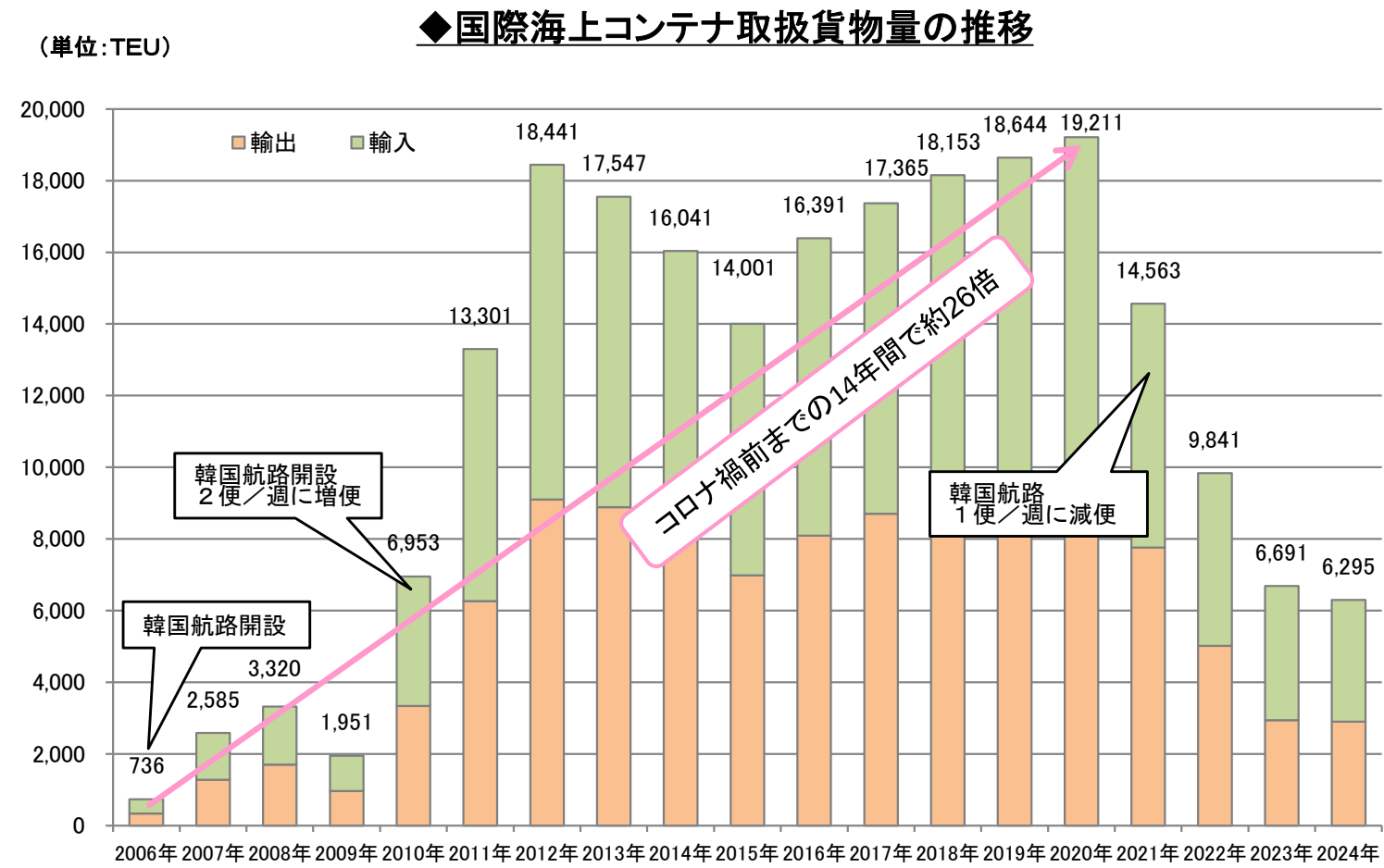


◆総取扱貨物の内訳(2024年)



- 国際コンテナ取扱貨物量は2020年は過去最高を記録していたが、新型コロナウイルス長期化の影響によるコンテナ不足や、燃料高騰による海上運賃高騰のため2021年以降減少傾向にある。
- 主な輸出品目は化学薬品であり、輸入は2割以上を家具装備品(大川市内の家具企業等)が占めている。
- 令和7年4月、韓国航路が一旦休止
- 令和7年8月、国際フィーダー航路(神戸航路)が新規就航(週1便)

◆国際コンテナ取扱貨物の内訳(2024年)



出典: 三池港湾統計